

揖斐郡学校保健会だより 第4号 R6.11.11 R6 第66回岐阜県学校歯科保健研究大会（養老郡大会）報告

令和6年11月10日（日） 養老町中央公民館 町民会館

令和6年度 第66回岐阜県学校歯科保健研究大会 大会テーマ
明るく未来へ、子どもの笑顔と健康を守る ～歯の健康からウェルビーイングを～

12:00～12:30 挨拶・祝辞 大会実行委員長様・大会会長様・養老町長様
12:30～14:00 表彰
R6 歯・口腔に関する図画・ポスター表彰 R6 歯・口腔に関する標語表彰
R6 歯・口腔に関する動画・研究動画表彰
学校歯科功労者表彰 岐阜県学校歯科保健優良校・推進校表彰
14:00～15:00 研究発表
研究発表Ⅰ 養老郡養護教諭部会
「主体的に健康な生活を送る子どもの育成～自分の歯と口の健康課題の改善に向けて
取り組む（知る→判断する→行動する）子を目指して」
研究発表Ⅱ 養老歯科医師会
「養老歯科医師会の学校歯科保健における活動と課題～小規模地域歯科医師会の今後～」
15:00～16:15 特別講演 日本大学松戸歯学部教授 根岸 慎一 様
「口腔機能が小児の歯列形態および全身状態に与える影響について」
16:15～ 次年度開催地挨拶・閉会の辞 ※次年度の開催地は飛騨

1 令和6年度第66回岐阜県学校保健研究大会の挨拶より

- (1) 第66回岐阜県学校歯科保健研究大会実行委員長 養老歯科医師会会長 常喜 康英 様 挨拶より
 - 本大会が子どもたちが自ら健康習慣を身につけるための基盤となることを願い、また歯と口の健康発展が次世代にもつながっていくことを願っている。
- (2) 第66回岐阜県学校歯科保健研究大会会長 岐阜県歯科医師会会長 阿部 義和 様 挨拶より
 - 学校における健康教育、歯科保健活動はまさに「学力の三要素」（知識理解、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性）のアクティブラーニングに沿った内容であり、今後ますます学校において学校保健活動、歯科保健活動を中心とした健康教育の実践が望まれる。
- (3) 養老町長 河地 憲元 様
 - 養老町では平成31年3月に「地域でつくる健康なまち ようろう」をキャッチフレーズに第3次健康ようろう21（町健康増進計画）を策定し、計画の基本方針のいひとつである「生涯を通じた健康づくりの推進」の分野の一つとして「歯と口腔の健康」を位置づけ、乳幼児から高齢期までのライフステージに合わせた取り組みを盛り込み、生涯を通じた切れ目のない歯科口腔保健対策を推進している。

2 表彰について

- ① 歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール入賞者 入賞者：小学校20人 高等学校1人
(岐阜県知事賞・岐阜県教育長賞・岐阜県歯科医師会会長賞・岐阜新聞・岐阜放送賞)
- ② 歯と口の健康に関する標語コンクール入賞者
(岐阜県知事賞・岐阜県教育長賞・岐阜県歯科医師会会長賞・岐阜新聞・岐阜放送賞)
小学校 5人 岐阜県知事賞 「しあげみがき 心はポカポカ 歯はピカピカ」
- ③ 歯と口の健康に関する標語コンクール入賞者 中学校 1校
- ④ 学校歯科保健功労賞表彰 4人 養老郡の養護教諭
- ⑤ 前年度開催地感謝状 岐阜県歯科医師会・岐阜市教育委員会
- ⑥ 岐阜県学校歯科保健優良校表彰（特選校・県1位・県準1位・優良校・奨励校・努力校を大規模校・中規模校・小規模校別に表彰）
小学校表彰校：28校 特別支援学校：5校 学校保健先進校：12校
- ⑦ 第66回全日本学校歯科保健優良校表彰 3つの小学校と1つの特別支援学校
- ⑧ 令和6年度岐阜県学校歯科保健推進表彰 岐阜市教育委員会

3 研究発表について

- (1) 研究発表Ⅰ 養老郡養護教諭部会

「主体的に健康な生活を送る子どもの育成～自分の歯と口の健康課題の改善に向けて
取り組む（知る→判断する→行動する）子を目指して」

■目指す姿

- 小低：自分の口の状態がわかり、歯みがきの習慣を身につけることができる子

- 小中：自分の口の中の状態を知った上で口の中の健康を保つためにはどうしたらよいかを考えて行動できる子
- 小高：口の中の健康について正しく理解し、予防に向けて行動がとれる子

■研究内容

- 研究内容 1：歯科指導の充実 ①系統的な保健指導 ②事前事後指導の工夫 ③ミニ指導の実施
 研究内容 2：歯科医との連携 ①親子はみがき ②情報提供
 研究内容 3：家庭との連携 ①家庭教育学級の開催 ②親子カラーテストの実施 ③治療勧告の工夫
- 乳歯・永久歯の本数や虫歯の状態を記入した個別カードを作り、自分の口腔内の変化に関心をもたせる
 - 学校歯科医より仕上げ歯磨きの重要性和定期的な歯科受診の奨励、歯科衛生士より歯磨きをする際の注意するポイントを親子歯磨き指導を行った。
 - 家庭教育学級に「親子歯磨き教室」を位置づけるなど「親子歯磨き指導」をPTAの活動として位置づけている。
 - 治療勧告は一度のお知らせでは受診率が上がらないため、再勧告書を出したり、保護者との懇談時に治療の勧めを行った。中学校では歯科指導の事前指導資料を配付し再勧告につなげた。

(2) 研究発表Ⅱ 養老歯科医師会

「養老歯科医師会の学校歯科保健における活動と課題～小規模地域歯科医師会の今後～」

- 学校歯科保健活動において小規模歯科医師会である養老歯科医師会であっても活動内容を工夫することで継続的に事業を行うことができると考えた。
- 養老町は市町村別のう歯罹患率が高いため、フッ化物洗淨を進め、各学校の実施率が95%になり、継続して取り組んでいる。
- 養老歯科医師会として「歯養通信」を年間6回発行した。
 - ① 虫歯について ② 歯科健診の後どうするの？ ③ 夏休みにあたって
 - ④ 歯肉炎とは？歯肉炎とブラッシングの関係
 - ⑤ 歯肉炎の原因 ブラッシング以外での今時の理由 ⑥ あなたの舌の位置はどこにありますか？
- ・歯養通信を読んだことのある保護者は95.3%で内容をよいと評価された。
 (歯科医師会で原稿を作成→養教部会で校正→執筆者による修正→各校で印刷→保護者に配付)

4 特別講演について 日本大学松戸歯学部教授 根岸 慎一 様

「口腔機能が小児の歯列形態および全身状態に与える影響について」

- 口腔機能発達不全症には「軟食化→口腔機能の低下→不正咬合」が関わり、社会の変化に伴う咀嚼力の低下が見られる。
- 口腔は食品を体内に取り入れる咀嚼・嚥下の器官だけではなく、呼吸や発語・発話の器官としても機能し、それぞれの機能に口腔の硬組織・軟組織が複雑に連携している。
- ガム咀嚼トレーニングにより、集中力がアップする、学力が向上する、咬合力がアップする、スタートダッシュアップなどの効果があると報告されている。(唾液量・IgA分泌量が増加する)
- テクスチャー値(硬く噛みごたえがある)の高い食品をとり、たてがみ咀嚼・すりつぶし咀嚼を適切に行い、活発な咀嚼運動、筋活動を生み出すことで顎骨の成長や咬合力等のアップにつながる。
- 小児の口腔機能の発達と歯列形態の成長変化の調査結果をもとに、適切な歯列形成や全身状態によい影響を与える機序を明確にしていきたいと考えている。

5 大会の運営について (養老大会の場合の場合は以下のように大会運営組織が組織されていた) <敬称略>

- 主催は岐阜県歯科医師会、主幹は養老歯科医師会・養老町教育委員会、後援は日本歯科医師会、岐阜県教育委員会、岐阜県学校保健会、養老町学校保健会、岐阜新聞・岐阜放送、協賛はライオン株式会社・ライオン歯科衛生研究所
- 大会会長は岐阜県歯科医師会会長、大会副会長は岐阜県歯科医師会の先生、大会実行委員長は養老歯科医師会会長、大会実行副委員長は各郡市の歯科医師会会長および岐阜歯科医師会の理事、大会参与は朝日大学歯学部教授および日本学校歯科医会常任理事
- 「大会主幹実行委員」は実行委員長：養老歯科医師会会長、実行副委員長：養老歯科医師会副会長・養老町教育委員会教育総務課長、養老町教育委員会総務課学校保健係長、養老医師会理事、学校保健会担当校校長・教頭、事務局は養老町教育総務課学校保健担当
- 「大会主幹企画運営委員会」は代表：学校保健会担当校校長、代表補佐：郡養教部会担当校長、事務局長：郡学校保健会担当校長の学校の教頭+養老町教育委員会教育総務課学校保健担当、委員：養老町教育委員会教育総務課 学校保健係長、養老歯科医師会会長、保健主事部会部長、養護教諭部会部長、体育主任部会部長、栄養職員部会部長

※県学校歯科保健研究大会は岐阜地区→西濃地区→飛騨地区→東濃地区→中濃地区→周辺地区(羽島・本巣・各務原・山県)の6地区で回っているので、R7:飛騨、R8:東濃、R9:中濃、R10:周辺地区、R11:岐阜地区、R12:西濃地区となる。西濃地区でどの郡市が開催するかは地区で話し合う。

(揖斐郡では2012年(平成24年)11月18日(日)に第54回の岐阜県学校歯科保健研究大会を主管している。)

※次回揖斐郡で開催すまでかなり時間が空くため、開催時の郡の学校保健に関わる組織の実態を踏まえ、この組織に揖斐郡学校保健会事務局(郡教育研修センター主幹)を加えた大会実行委員会を話し合っ